

# 地域の経済動向分析

2024年3月 大槌商工会

RESAS（地域経済分析システム）等を活用して、地域経済の動向をデータとして分析公表します。

## 1 コロナ禍及び新型コロナウイルス5類移行後の状況

### ①人流の変化

RESAS「From-to分析」（滞在人口）を活用し、コロナ前、コロナ禍の休日の人流の変化を表に表しました。

【出典】

株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」総務省「国勢調査」

「From-to分析」（各年6月14時の休日における滞在人口推定）

	2018.6	2019.6	2020.6	2021.6	2022.6	2023.6
県内（人）	8,270	7,952	8,196	8,107	7,898	7,614
県外（人）	196	196	59	61	88	88
合計（人）	8,466	8,148	8,255	8,168	7,986	7,702
滞在人口率（倍）	0.91	0.87	0.98	0.97	0.95	0.91

滞在人口は15歳以上80歳未満の総数で滞在人口率は2015年及び2020年の国勢調査を基準として算出しています。

これを見ると、コロナ前から県外からの来訪が大きく減少し、それが回復していないことがわかります。また、2020年～2022年における滞在人口率の高さは人流が止まっていたことを表すものと考えられます。

場合がある。

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の推移

岩手県大槌町



【出典】

観光情報プラットフォーム推進協議会「観光情報プラットフォーム」

【注記】

観光情報プラットフォームでは、日本全体の宿泊実績データのうち、1億3,000万泊以上（2019年5月現在）のサンプリングデータ（宿泊、国内ネット販売、海外向けサイトの販売）を抽出し、宿泊数等の集約データを掲載している。

「From-to分析」（宿泊者） 単位：人

年	2017	2018	2019
県内	5,783	8,195	6,206
県外	29,518	30,472	37,257
合計	35,301	38,667	43,463
年	2020	2021	2022
県内	11,790	17,772	11,092
県外	16,064	17,149	23,934
合計	27,854	34,921	35,026

宿泊者数はコロナ前は圧倒的に県外からのお客様が多く、コロナ禍では県内宿泊者が大きく増加しました。

ただし、総数ではコロナ前の宿泊者数に届いていない状況です。

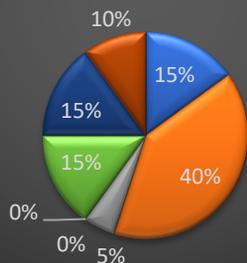
如何に県外からのお客様を獲得できるかが回復のカギに思われます。

## 2 事業者の実態調査

大槌商工会では、2023年8月に飲食業・宿泊業を営む事業者にアンケートを実施し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響について事業者の実態を調査しました。

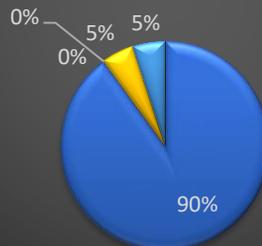
### Q1 令和5年5～7月とコロナ前の同期の売上を比較すると売上はどのように変化していますか

- ① 0～20%減
- ② 21～40%減
- ③ 41～60%減
- ④ 61～80%減
- ⑤ 81～100%減
- ⑥ コロナ前より増加
- ⑦ 変化していない
- ⑧ 比較できない



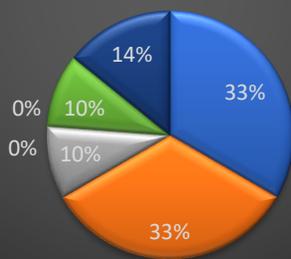
### Q2 エネルギー価格・物価高騰等による貴社の経営への影響はありますか

- ① 影響が継続している
- ② 影響はあったが収束した
- ③ 今後、影響がでる可能性がある
- ④ 分からない
- ⑤ 影響はない



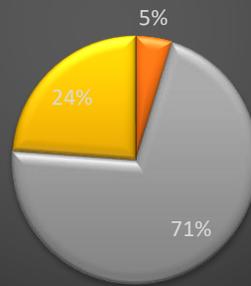
### Q3 令和5年7月の売上原価は、前年の同月と比較して増加していますか

- ① 0～20%増
- ② 21～40%増
- ③ 41～60%増
- ④ 61～80%増
- ⑤ 81～100%増
- ⑥ 前年同月比減
- ⑦ 前年同月と比べて変化していない



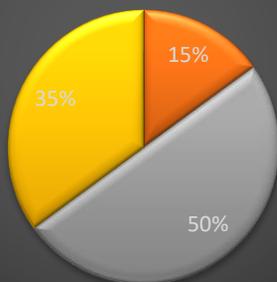
### Q4 昨今の事業環境の変化に自社で対応できていますか。

- Q4 昨今の事業環境の変化に自社で対応できていますか。
- ① 対応できている
- ② あまり対応できていない
- ③ ほとんど対応できていない



### Q5 貴社では、必要な価格転嫁をできていますか

- ① 転嫁できている
- ② あまり転嫁できていない
- ③ ほとんど転嫁できていない



### 現在の経営課題について



調査の結果、新型コロナウイルス感染症の影響が残っていることに加え、物価高騰の影響を感じていることがわかりました。また、売上、利益等は肌感で回復していないということもわかりました。

経営課題には、事業環境への対応のほか、資金繰り対策を上げられる事業者が多く、既往債務や、新型コロナ融資の債務が経営の負担として挙げられています。

では、事業者の経営状況がどのようになっているかを決算状況を基に分析したところ、増収増益と減収減益で二極化していることがわかりました。

# 3 今後の見通し

今後の見通しについてv-resasデータを活用し、検討します。

## ① 人材確保が課題

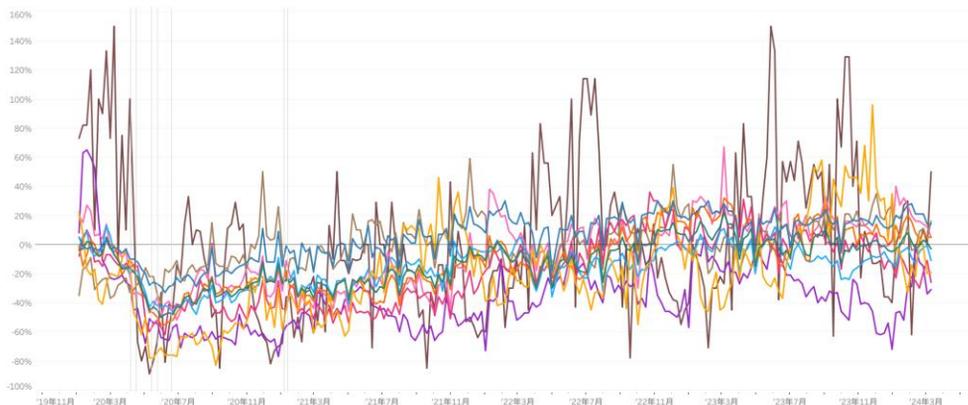
岩手県の求人情報数 - 職種ごとの2019年同週比の推移

2019年12月30日 - 2024年3月10日

職種の分類

販売・サービス職

職種の分類：  
■ すべての職種  
■ すべての販売・サービス職  
■ 映像/イベント/芸能  
■ 飲食/フード  
■ 販売/接客/サービス  
■ ファッション/インテリア  
■ 美容/エステ/ネイル  
■ 宿泊/ブライダル  
■ アミューズメント  
■ ナイトワーク



V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

出典：株式会社フログ HRogリストforアカデミア

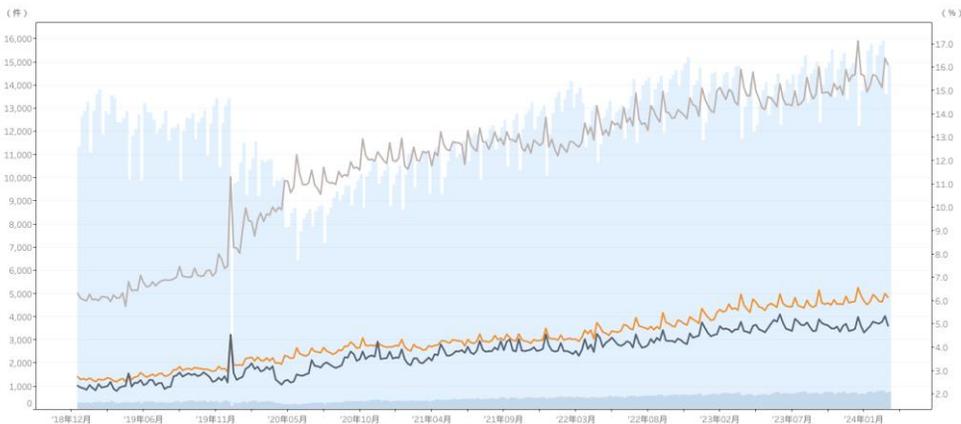
2024年3月第1週の販売・サービス職の求人情報数は2019年同週比で+14%です。コロナ禍で一度落ち込んだものの、2022年以降は2019年の同週比を上回るようになっていきます。他の職業も同様となっており、人材不足に対する対応が必要となっています。

岩手県のデジタル人材の求人割合 - 岩手県全体の業種別の求人割合及び掲載件数の推移

2018年12月31日 - 2024年03月10日

市区町村 業種 母集団  
岩手県全体 全業種 全体

折れ線グラフ（デジタル人材の求人割合）：  
■ 市区町村 ■ 岩手県 ■ 東北ブロック ■ 全国  
棒グラフ（掲載件数）：  
■ デジタル人材の求人情報 ■ 全求人情報



V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

出典：株式会社フログ HRogリストforアカデミア

人材不足をデジタルで補い、人的生産性を上げようという試みが始まっており、デジタル人材の求人情報、求人割合も暫時増加していることと表れていると考えられます。なお、全求人に対するデジタル人材の求人割合の全国平均は約16%となっていますが、岩手県では約4%となっていて、大きな差が生じています。

## ② 飲食店の情報収集手段が変わってきている可能性

岩手県の飲食店情報の閲覧数 - ジャンルごとの2019年同週比の推移

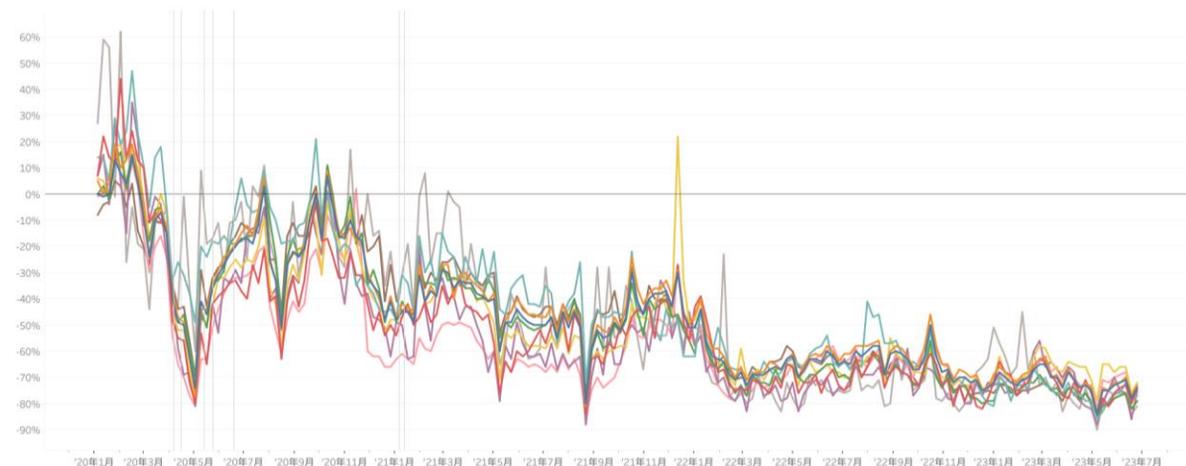
2019年12月30日 - 2023年6月25日

エリア

岩手県全体

飲食店のジャンル

- すべて
- アジア・エスニック
- 洋食・西洋料理
- 鍋料理
- カフェ・スイーツ
- 和食
- 中華
- 肉料理
- 居酒屋・バー
- ファミレス・ファストフード

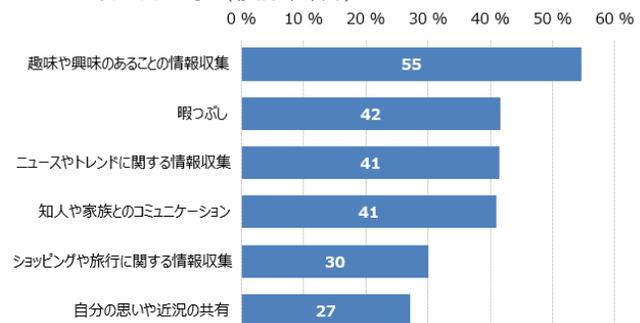


V-RESAS <https://v-resas.go.jp>

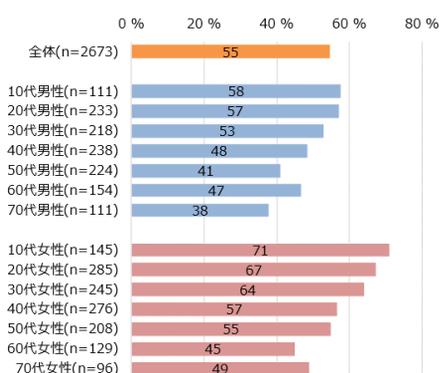
出典：Retty株式会社 Food Data Platformより提供

上記データは、飲食店の口コミサイトの閲覧数を基に、2019年比をグラフ化したものです。各都道府県で緊急事態宣言が出された2020年4月以降大幅な落ち込みがあり、以降、一時期を除いて2019年比を超えることが少なくなりました。これは、「新型コロナウイルス感染症の影響によって、飲食店への興味、関心がなくなった」ということだけを表しているわけではない可能性があります。

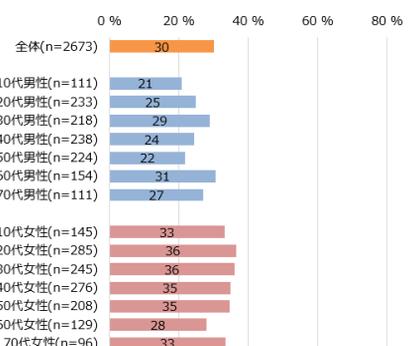
### SNSの利用目的（複数回答）



### SNSを「趣味や興味のあることの情報収集」に使う割合（性年代別）



### SNSを「ショッピングや旅行の情報収集」に使う割合（性年代別）



引用元：NTTドコモ モバイル社会研究所2023年 スマホ利用者行動調査<https://www.mobaken.jp/project/lifestyle/20230622.html>

NTTドコモ モバイル社会研究所が、2023年2月に行った「2023年 スマホ利用者行動調査」では、SNSが情報収集の手段化してきたことを報告しています。特に若い女性ほど、趣味や興味のあることの情報収集を、また、女性の方がショッピングや旅行に関する情報収集をSNSで行っていることが明らかになっており、情報収集手段がSNSに変わりつつある可能性があります。